

2023年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

 2023年11月7日
 上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス
 コード番号 4928 URL <https://www.noevirholdings.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大倉 俊
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経理部長（氏名） 羽生 光嘉（TEL）078-303-5121
 定時株主総会開催予定日 2023年12月8日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月8日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期の連結業績（2022年10月1日～2023年9月30日）
(1) 連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	62,552	2.3	11,024	9.0	11,295	8.5	7,673	1.1
2022年9月期	61,143	—	10,115	—	10,406	—	7,589	—

（注）包括利益 2023年9月期 8,224百万円（4.1%） 2022年9月期 7,900百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	224.66	—	14.6	14.7	17.6
2022年9月期	222.20	—	14.6	13.2	16.5

（参考）持分法投資損益 2023年9月期 -百万円 2022年9月期 -百万円

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	77,246	53,205	68.3	1,545.54
2022年9月期	76,781	52,384	67.8	1,524.05

（参考）自己資本 2023年9月期 52,790百万円 2022年9月期 52,055百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	7,624	△3,544	△7,493	26,166
2022年9月期	5,845	△255	△7,380	29,530

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	0.00	—	215.00	215.00	7,343	96.8	14.1
2023年9月期	—	0.00	—	220.00	220.00	7,514	97.9	14.3
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	220.00	220.00		96.3	

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	63,000	0.7	11,200	1.6	11,400	0.9	7,800	1.6	228.36

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	34,156,623株	2022年9月期	34,156,623株
② 期末自己株式数	2023年9月期	270株	2022年9月期	270株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	34,156,353株	2022年9月期	34,156,378株

（注）1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる数式については、添付資料16ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略	5
(2) 目標とする経営目標	5
(3) 会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(連結貸借対照表関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

《概況》

	2022年9月期		2023年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	61,143	100.0	62,552	100.0	1,408	2.3
化粧品事業	47,032	76.9	48,175	77.0	1,143	2.4
医薬・食品事業	11,408	18.7	11,985	19.2	577	5.1
その他の事業	2,703	4.4	2,391	3.8	△311	△11.5

	2022年9月期		2023年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	10,115	16.5	11,024	17.6	908	9.0
経常利益	10,406	17.0	11,295	18.1	889	8.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,589	12.4	7,673	12.3	83	1.1

当連結会計年度（2022年10月1日～2023年9月30日）における景気の動向は、緩やかな回復の動きがみられたものの、依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」に取り組んでおります。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高62,552百万円（前期比2.3%増）、営業利益11,024百万円（同9.0%増）、経常利益11,295百万円（同8.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7,673百万円（同1.1%増）となりました。

《セグメント別の状況》

(a) 化粧品事業

	2022年9月期 (百万円)	2023年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	47,032	48,175	1,143	2.4
セグメント利益	10,814	11,867	1,052	9.7

化粧品事業は、売上高48,175百万円（前期比2.4%増）、セグメント利益11,867百万円（同9.7%増）となりました。

(b) 医薬・食品事業

	2022年9月期 (百万円)	2023年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	11,408	11,985	577	5.1
セグメント利益	1,157	1,185	27	2.4

医薬・食品事業は、売上高11,985百万円（前期比5.1%増）、セグメント利益1,185百万円（同2.4%増）となりました。

(c) その他の事業

	2022年9月期 (百万円)	2023年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,703	2,391	△311	△11.5
セグメント利益	381	260	△120	△31.6

その他の事業は、売上高2,391百万円（前期比11.5%減）、セグメント利益260百万円（同31.6%減）となりました。

(注) セグメント利益及び損失は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用調整前の金額であります。なお、当連結会計年度のセグメント利益の調整額の詳細につきましては14ページ及び15ページ「(セグメント情報) ③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報(注)1」をご覧ください。

② 次期の見通し

今後の景気動向は、緩やかな回復が予想されるものの、物価上昇に伴う個人消費の下押しリスク等、不透明な状況が見込まれます。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を目指すことにより、2024年9月期の連結業績は、売上高630億円、営業利益112億円、経常利益114億円、親会社株主に帰属する当期純利益78億円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ464百万円増加し、77,246百万円となりました。主に、受取手形及び売掛金が1,524百万円増加したこと、現金及び預金が864百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ356百万円減少し、24,040百万円となりました。主に、長期預り保証金が418百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ820百万円増加し、53,205百万円となりました。主に、前期末配当7,343百万円による減少と、親会社株主に帰属する当期純利益7,673百万円により、利益剰余金が329百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が329百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は68.3%、1株当たり純資産は1,545.54円となり、前連結会計年度末に比べて自己資本比率は0.5%の増加、1株当たり純資産は21.49円の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3,364百万円減少し、26,166百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は7,624百万円（前期比1,778百万円の収入増）となりました。主に、増加要因として、税金等調整前当期純利益11,298百万円、減少要因として、法人税等の支払額及び還付額1,979百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は3,544百万円（前期比3,289百万円の支出増）となりました。主に、定期預金の預入による支出2,717百万円、有形固定資産の取得による支出736百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は7,493百万円（前期比112百万円の支出増）となりました。主に、配当金の支払7,341百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期
自己資本比率 (%)	63.3	64.9	64.5	67.8	68.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	231.2	209.9	226.3	252.7	233.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債（利子込み法によるリース債務を除く）を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と考えております。よって、中長期的な事業展開と経営体制の強化のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定的な配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金は上記方針に則り、直近の配当予想から5円増配し、1株当たり普通配当220円といたします。

次期の配当金は、1株当たり普通配当年間220円を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略

中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を達成するため、以下5つの方針を実行してまいります。

1. 日本市場でのイノベーションと持続的利益創出
2. ブランド価値の向上
3. 人材、組織の多様化加速
4. 研究開発・生産・物流の多様化加速による競争力強化
5. 変化に対応できる経営の推進

(2) 目標とする経営指標

当社グループでは、売上高、営業利益及び自己資本当期純利益率／ROEを重要な経営指標とし、企業価値の最大化と収益性の向上を実現してまいります。

(3) 会社の対処すべき課題

今後の景気動向は、緩やかな回復が予想されるものの、物価上昇に伴う個人消費の下押しリスク等、不透明な状況が見込まれます。

このような環境の中、当社グループの主要事業である化粧品、医薬・食品事業の市場における変化や多様化に対応するため、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を推し進めていくことが対処すべき課題と認識しております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較継続性や海外市場での資金調達の実現性の低さ等を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,747	28,883
受取手形及び売掛金	8,970	10,495
商品及び製品	6,242	6,352
仕掛品	140	141
原材料及び貯蔵品	1,467	1,653
未収入金	3,391	3,057
その他	617	597
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	50,569	51,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,106	4,887
機械装置及び運搬具（純額）	784	650
土地	13,554	13,554
リース資産（純額）	928	846
建設仮勘定	123	71
その他（純額）	195	183
有形固定資産合計	※1 20,692	※1 20,193
無形固定資産		
のれん	209	178
ソフトウェア	119	89
その他	90	431
無形固定資産合計	418	699
投資その他の資産		
投資有価証券	2,132	2,611
繰延税金資産	1,729	1,455
その他	1,257	1,132
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	5,100	5,178
固定資産合計	26,212	26,071
資産合計	76,781	77,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,935	2,903
リース債務	93	87
未払金	3,197	3,012
未払法人税等	1,085	2,146
賞与引当金	101	97
その他	2,239	2,258
流動負債合計	9,653	10,506
固定負債		
リース債務	912	827
長期預り保証金	12,001	11,583
繰延税金負債	311	461
退職給付に係る負債	514	534
その他	1,003	127
固定負債合計	14,743	13,534
負債合計	24,397	24,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	42,982	43,312
自己株式	△1	△1
株主資本合計	50,300	50,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,278	1,607
為替換算調整勘定	486	558
退職給付に係る調整累計額	△8	△5
その他の包括利益累計額合計	1,755	2,160
非支配株主持分	328	415
純資産合計	52,384	53,205
負債純資産合計	76,781	77,246

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月 1日 至 2022年 9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月 1日 至 2023年 9月30日)
売上高	61,143	62,552
売上原価	19,050	19,988
売上総利益	42,093	42,564
販売費及び一般管理費		
販売手数料	8,180	7,966
販売促進費	2,878	2,725
給料手当及び賞与	6,244	6,319
賞与引当金繰入額	92	90
退職給付費用	412	347
その他	14,169	14,090
販売費及び一般管理費合計	31,977	31,540
営業利益	10,115	11,024
営業外収益		
受取利息	10	30
受取配当金	18	24
為替差益	103	1
保険解約返戻金	—	46
保険配当金	22	52
受取損害賠償金	44	9
その他	92	106
営業外収益合計	291	271
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	10,406	11,295
特別利益		
固定資産売却益	121	7
退職給付制度改定益	961	—
特別利益合計	1,083	7
特別損失		
固定資産除売却損	18	4
減損損失	310	—
特別損失合計	329	4
税金等調整前当期純利益	11,161	11,298
法人税、住民税及び事業税	2,359	3,207
法人税等調整額	1,147	276
法人税等合計	3,506	3,484
当期純利益	7,654	7,814
非支配株主に帰属する当期純利益	64	140
親会社株主に帰属する当期純利益	7,589	7,673

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月 1日 至 2022年 9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月 1日 至 2023年 9月30日)
当期純利益	7,654	7,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△452	329
為替換算調整勘定	572	77
退職給付に係る調整額	125	2
その他の包括利益合計	245	409
包括利益	7,900	8,224
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,776	8,077
非支配株主に係る包括利益	123	146

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	43,040	△1	50,357
会計方針の変更による 累積的影響額		△474		△474
会計方針の変更を反映した 当期首残高	7,319	42,565	△1	49,883
当期変動額				
剰余金の配当		△7,172		△7,172
親会社株主に帰属する 当期純利益		7,589		7,589
自己株式の取得			△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	416	△0	416
当期末残高	7,319	42,982	△1	50,300

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,730	△27	△134	1,568	306	52,233
会計方針の変更による 累積的影響額						△474
会計方針の変更を反映した 当期首残高	1,730	△27	△134	1,568	306	51,758
当期変動額						
剰余金の配当						△7,172
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,589
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△452	513	125	186	22	209
当期変動額合計	△452	513	125	186	22	626
当期末残高	1,278	486	△8	1,755	328	52,384

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	42,982	△1	50,300
当期変動額				
剰余金の配当		△7,343		△7,343
親会社株主に帰属する 当期純利益		7,673		7,673
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	329	—	329
当期末残高	7,319	43,312	△1	50,629

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,278	486	△8	1,755	328	52,384
当期変動額						
剰余金の配当						△7,343
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,673
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	329	72	2	404	86	490
当期変動額合計	329	72	2	404	86	820
当期末残高	1,607	558	△5	2,160	415	53,205

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月 1日 至 2022年 9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月 1日 至 2023年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,161	11,298
減価償却費	1,420	1,189
減損損失	310	—
のれん償却額	31	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△4
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△4,056	20
退職給付制度移行に伴う未払金の増減額 (△は減少)	1,832	△1,004
受取利息及び受取配当金	△28	△55
為替差損益 (△は益)	△43	△3
固定資産除売却損益 (△は益)	△103	△2
退職給付制度改定益	△961	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△343	△1,518
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△284	△261
仕入債務の増減額 (△は減少)	282	△39
保険解約返戻金	—	△46
預り保証金の増減額 (△は減少)	△414	△418
その他	403	301
小計	9,189	9,484
利息及び配当金の受取額	25	51
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,370	△1,979
保険解約返戻金の受取額	—	67
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,845	7,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△264	△2,717
定期預金の払戻による収入	311	217
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△546	△736
有形固定資産の売却による収入	312	10
無形固定資産の取得による支出	△67	△316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255	△3,544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△7,166	△7,341
非支配株主への配当金の支払額	△101	△59
その他	△112	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,380	△7,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	479	49
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,310	△3,364
現金及び現金同等物の期首残高	30,841	29,530
現金及び現金同等物の期末残高	29,530	26,166

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している一部の在外連結子会社において、ASC第842号「リース」を当連結会計年度の期首から適用し、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度末の「無形固定資産」の「その他」が25百万円、「流動負債」の「その他」が18百万円、「固定負債」の「その他」が7百万円それぞれ増加しております。なお、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

(連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	30,416百万円	31,287百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主として化粧品及び医薬品・食品の製造販売事業とアパレル・ボディファッション関連及び航空関連等のその他の事業を営んでおり、変化や多様化が進む市場環境に対応した戦略に基づく事業活動を行っております。

したがって、当社グループは、取り扱い商品を基礎とした事業別セグメントから構成されており、以下の3つを報告セグメントとしております。

「化粧品事業」は、化粧品及びトイレタリーの製造販売、化粧雑貨の仕入販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品及び食品の製造・仕入販売を行っております。

「その他の事業」は、アパレル・ボディファッション及び航空機・船舶の仕入販売、航空運送・操縦訓練事業、その他を行っております。

②報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、直近の有価証券報告書(2022年12月8日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品事業	医薬・食品 事業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
売上高						
顧客との契約から生じる収益	47,032	11,408	2,617	61,057	—	61,057
その他の収益	—	—	85	85	—	85
外部顧客への売上高	47,032	11,408	2,703	61,143	—	61,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	265	265	△265	—
計	47,032	11,408	2,968	61,409	△265	61,143
セグメント利益	10,814	1,157	381	12,353	△2,238	10,115
セグメント資産	50,596	16,753	2,721	70,072	6,709	76,781
その他の項目						
減価償却費	945	471	34	1,451	△30	1,420
のれんの償却額	—	—	31	31	—	31
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	397	206	1	605	—	605

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,238百万円の内訳は、セグメント間取引消去516百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,754百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	化粧品事業	医薬・食品 事業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
売上高						
顧客との契約から生じる収益	48,175	11,985	2,308	62,469	—	62,469
その他の収益	—	—	83	83	—	83
外部顧客への売上高	48,175	11,985	2,391	62,552	—	62,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	276	276	△276	—
計	48,175	11,985	2,668	62,829	△276	62,552
セグメント利益	11,867	1,185	260	13,313	△2,289	11,024
セグメント資産	50,047	16,879	2,582	69,509	7,736	77,246
その他の項目						
減価償却費	731	401	87	1,220	△30	1,189
のれんの償却額	—	—	31	31	—	31
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	503	268	202	974	—	974

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,289百万円の内訳は、セグメント間取引消去546百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,835百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	化粧品事業	医薬・食品事業	その他の事業	全社・消去	合計
減損損失	276	27	6	—	310

当連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	化粧品事業	医薬・食品事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	—	209	—	209

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	化粧品事業	医薬・食品事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	—	178	—	178

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	1,524.05円	1,545.54円
1株当たり当期純利益金額	222.20円	224.66円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	52,384	53,205
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	328	415
(うち非支配株主持分(百万円))	(328)	(415)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	52,055	52,790
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	34,156,353	34,156,353

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,589	7,673
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,589	7,673
普通株式の期中平均株式数(株)	34,156,378	34,156,353

(重要な後発事象)

該当事項はありません。